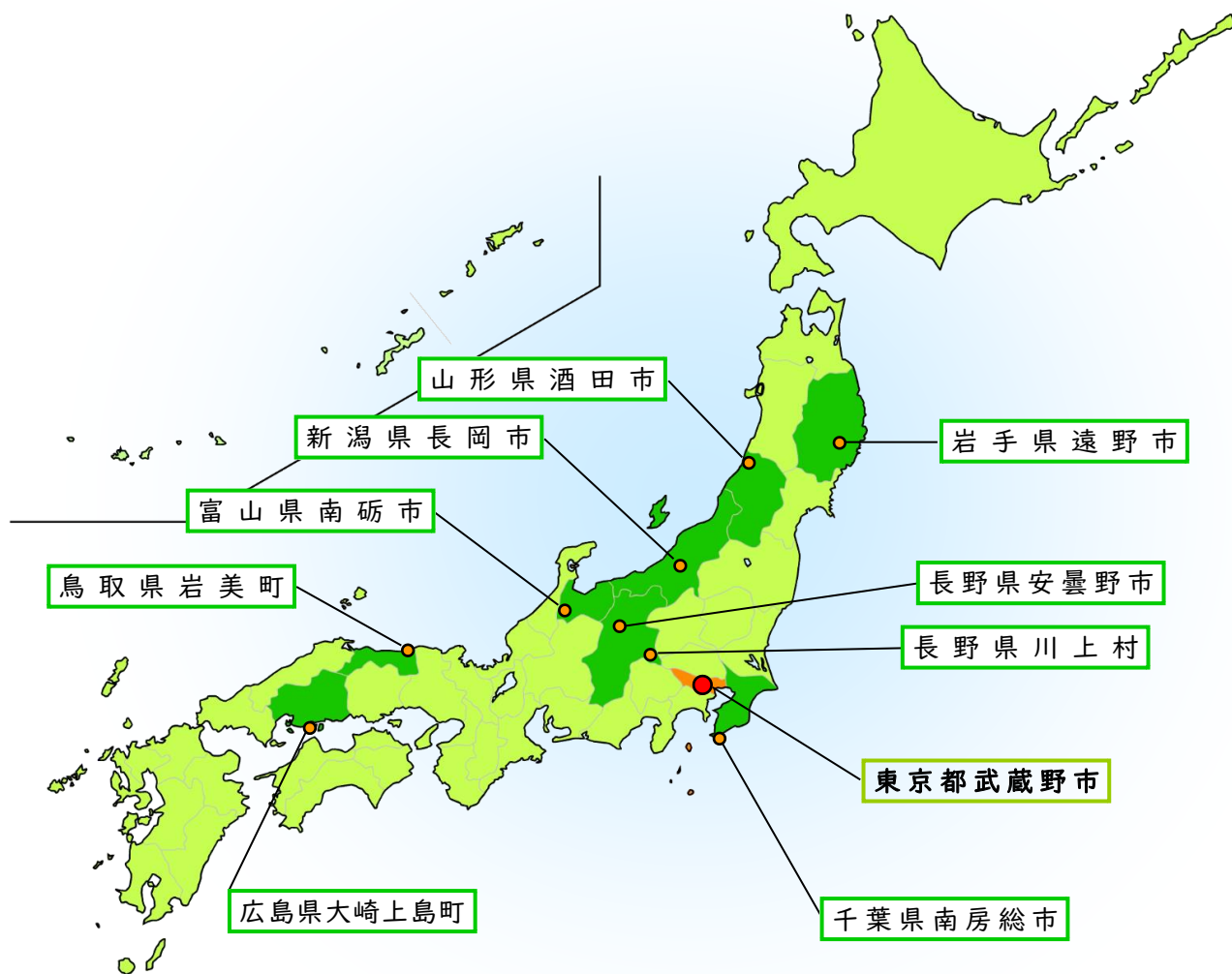


武蔵野市の 交流事業



武蔵野市

国内友好都市

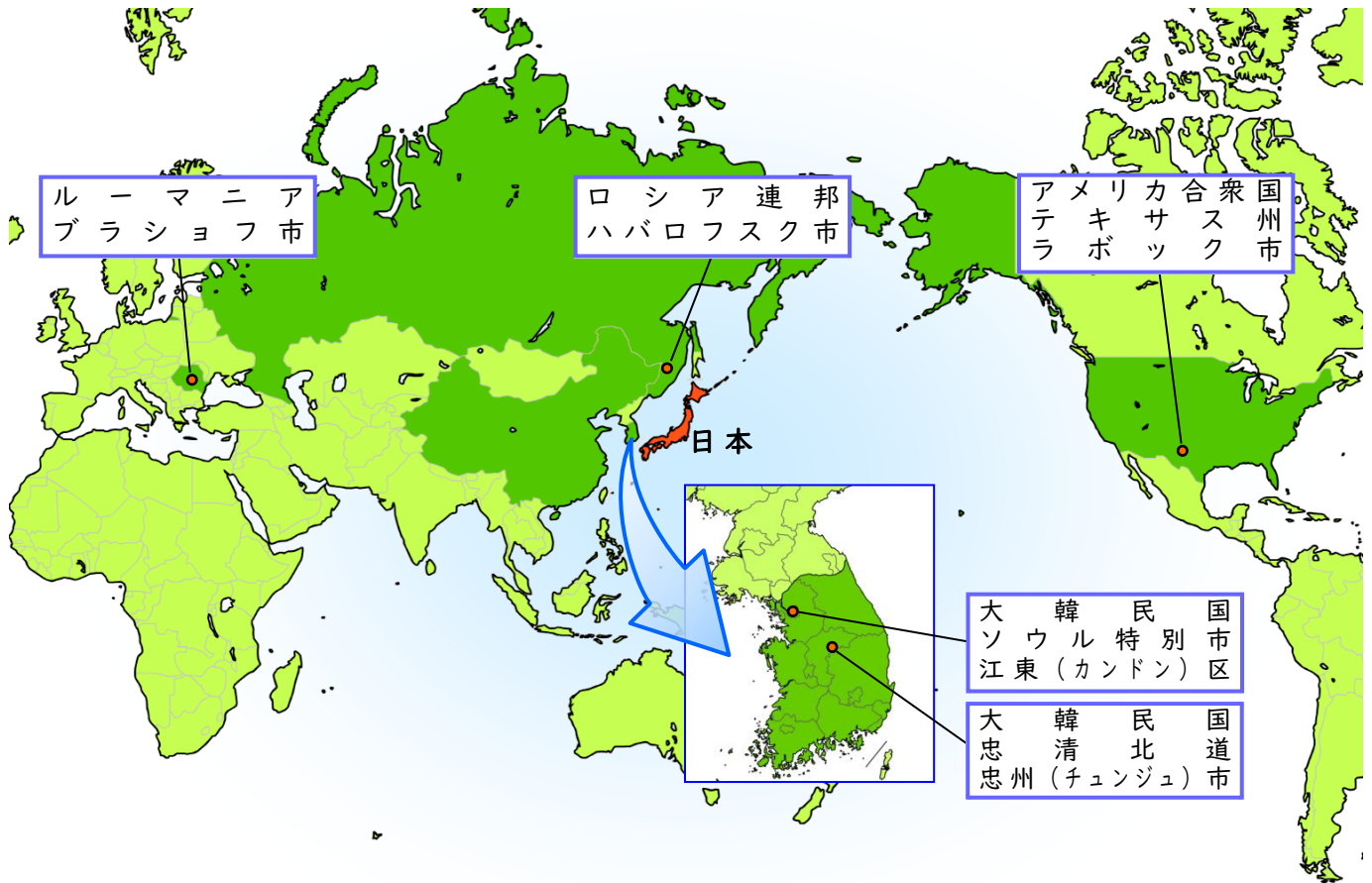


豊かな自然と人情が魅力の、国内9市町村

友好都市	交流開始年	市町村合併	面積	人口（令和2年国勢調査）
富山県南砺市	昭和47年(旧利賀村)	平成16年	668.64 km ²	47,937 人
長野県安曇野市	昭和62年(旧豊科町)	平成17年	331.78 km ²	94,222 人
長野県川上村	昭和57年		209.61 km ²	4,344 人
千葉県南房総市	昭和62年(旧白浜町)	平成18年	229.55 km ²	35,831 人
岩手県遠野市	昭和63年	平成17年	825.97 km ²	25,366 人
新潟県長岡市	平成元年(旧小国町)	平成17年	891.05 km ²	266,936 人
広島県大崎上島町	平成2年(旧大崎町)	平成15年	43.11 km ²	7,158 人
山形県酒田市	平成4年	平成17年	602.98 km ²	100,273 人
鳥取県岩美町	平成15年		122.31 km ²	10,799 人
(武蔵野市)	*市制施行 昭和22年		10.98 km ²	146,474 人



海外友好都市



様々な価値観や文化に出会う、世界5都市

友好都市

交流のきっかけ

アメリカ合衆国テキサス州ラボック市	昭和61年 第1回武蔵野市ジュニア大使親善使節団を派遣
ロシア連邦ハバロフスク市	平成3年 第1回武蔵野市青少年野鳥交流使節団を派遣
ルーマニア ブラショフ市	平成4年 国立ジョルジュ・ディマ交響楽団を支援
大韓民国 忠清北道 忠州市	平成9年 職員派遣研修に関する協定書を締結
大韓民国 ソウル特別市江東区	平成9年 職員派遣研修に関する協定書を締結

表紙の写真

左上：ブラショフ市
左中：長岡市
左下：ラボック市

右上：川上村
中：岩美町
右下：ソウル特別市江東区

右中：遠野市

国内交流事業



武蔵野市のような消費生活型の都市は、水や食糧、エネルギー、生活用品などを全国の生産地に依存し、それらを基盤に文化・芸術・情報など、都市の利便性を享受しています。

これに対して、生産地である農山漁村は、緑やきれいな空気、地場産品などの大切な価値を作りだしていますが、都市への人口流出と過疎化に悩まされています。

そこで本市では、都会と地方がお互いに失いつつあるものを補い合い、共存していくことを目的として、9つの市町村（富山県南砺市、長野県安曇野市、長野県川上村、千葉県南房総市、岩手県遠野市、新潟県長岡市、広島県大崎上島町、山形県酒田市、鳥取県岩美町）と友好関係を結び、イベントでの物産販売や、市民交流などを実施しています。また、これら友好都市は、共同生活の中で自然体験をするジャンボリーや、市立小・中学校の授業の一環として実施するセカンドスクールなど、子どもたちが農山漁村の重要な役割について体験して学ぶ場にもなっています。

事業名	交流・派遣先	対象	市役所窓口
市民交流ツアー	国内友好都市	市内在住・在学・在勤	多文化共生・交流課
各種宿泊費助成	右ページ右列参照	右ページ右欄参照	多文化共生・交流課
むさしのジャンボリー	長野県川上村	市内在住の小学4～6年生	児童青少年課
親子稲作体験	新潟県長岡市小国町	市内在住・在学・在勤の親子	児童青少年課
遠野市家族ふれあい自然体験	岩手県遠野市	市内在住・在学・在勤の親子	児童青少年課
鳥取県家族ふれあい自然体験	鳥取県岩美町ほか	市内在住・在学・在勤の親子	児童青少年課
セカンドスクール	南砺市、安曇野市他	市立小中学校	指導課
南砺市利賀村訪問・児童来訪	富山県南砺市利賀村	市立小学校5・6年生	指導課

富山県南砺市【さがけて 緑の里から 世界へ ほっと あつと なんと】



富山県の南西端に位置し、市の約8割を占める森林の一部は白山国立公園に指定されています。北側の平野部は豊かな水に恵まれた水田地帯で、美しい「散居村」の風景が広がります。

また、「合掌造り集落」などの文化資源から、先駆的な「世界演劇祭」「国際木彫刻キャンプ」などの芸術イベントまで、多様化する観光需要に応えています。

隔年での市民交流団派遣やセカンドスクールで交流を深めています。

長野県川上村【冷涼な夏の気候が育てる高原野菜、山菜も川魚も】

長野県の最東端に位置する山村です。西に八ヶ岳連峰を臨み、東南に秩父多摩甲斐国立公園の名峰が点在します。甲武信ヶ岳を源とする千曲川が村を横切り、両岸に1,600ヘクタールの広大な耕地が広がります。

年間を通じて冷涼、少雨で、高原野菜の生産が盛んです。レタスは日本一の生産量を誇り、真夏の最盛期には全国の8割を川上村から出荷します。



村内には「武蔵野市立自然の村」があり、ジャンボリーなどで多くの子どもたちが村を訪れています。

長野県安曇野市【自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野】

長野県のほぼ中央に位置し、常念岳、燕岳などの北アルプスがそびえ、圃場から望む山々の展望は、「日本の原風景」とも形容されています。豊かな湧水を利用した信州わさびは有名で、ニジマス養殖や玉ねぎ・りんごの生産が盛んです。また安曇野市は、無病息災、子孫繁栄を祈念する道祖神の宝庫でもあります。

隔年で派遣している市民交流団は安曇野市の自然を体験できるプログラムです。

市内3か所の宿泊施設では、市民宿泊助成を利用できます。



千葉県南房総市【ひと・ゆめ・みらい 地域で創る魅力の郷】

房総半島の最南端に位置し、黒潮がもたらす温暖な気候と自然の恵みにより、山海の幸が豊富です。房州びわの栽培やアワビ・サザエを素潜りで獲る海女漁が盛んなほか、近海捕鯨の伝統が残るまちの一つです。

出荷量日本一のキンセンカなど花き栽培も盛んで、1月頃から南房総は満開の花畑で彩られます。東京からはアクアラインや館山自動車道で約90分ほど。

隔年で市民交流団を派遣し交流を深めています。夏休みには、南房総市白浜町民宿泊助成制度あり。【右参照】



武蔵野市交流市町村協議会

武蔵野市と国内の9つの友好都市で構成する協議会です。友好都市間の緊密な協力関係の構築と友好交流の促進を目的としています。武蔵野市と9つの友好都市で毎年順番に協議会を開催し、各市町村の首長、議長、職員などを中心に情報交換や研修会などを行っています。

また、平成23年の東日本大震災では9市町村が呼びかけあって災害支援を行ったことから、同年に、災害時の後方支援も視野に入れた連携・協力について確認しあう「安曇野市サミット宣言」を行いました。

岩手県遠野市【永遠の日本のふるさと 遠野】



岩手県の東南部、北上高地の中央に位置する盆地の町です。多くの民話が語り継がれ、柳田國男の「遠野物語」により民話のふるさととして全国的に知られています。

昭和63年に遠野市のイベントを武蔵野市内で開催したことが縁で交流がスタート。隔年で夏休みに家族で行く「家族ふれあい自然体験」では、乗馬や農業体験など遠野の大自然を満喫。隔年で実施している市民交流団派遣では、曲り家等を見学し、地元の方々と交流しています。

新潟県長岡市【志、未来へ 日本一のふるさと長岡】

新潟県の中央に位置し、日本一の大河・信濃川が市内中央をゆったりと流れ、東に守門岳、西に日本海を望む、「山・川・海」に囲まれた自然豊かなまちです。

毎年8月に開催される「長岡まつり大花火大会」は、長岡空襲からの復興を起源とし、慰霊と平和への願いを込めて打ち上げられている花火大会です。現在では2日間で約100万人もの観覧者を集め、花火を通じて世界に平和のメッセージを届けています。「親子稲作体験」という農業体験を通じて交流しています。



広島県大崎上島町【瀬戸内海元気アイランド】



広島県島嶼部にあり、瀬戸内海のほぼ中央に位置し、大崎上島本島と大小約20の島々からなります。本島最高峰「神峰山」の山頂からは、瀬戸内海が箱庭の様に一望でき、島々の間を行き交う船が穏やかな海の景色に趣を添えます。

年間を通じて温暖少雨で、ミカンをはじめとする柑橘類やブルーベリー、イチゴなど果物栽培は実に多彩です。近海漁業や造船・海運業など、海に関連する産業も盛んです。隔年で市民交流団を派遣し交流を深めています。

山形県酒田市【賑わいも暮らしやすさも 共に創る公益のまち酒田】

山形県の北西部に位置し、最上川が日本海に注ぐ河口に発達した港町です。江戸時代より西廻り航路による北前船交易で育まれた文化が今に受け継がれ、日本遺産に認定されています。



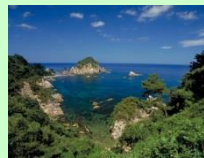
また、鳥海山・庄内平野・庄内砂丘など豊かな自然環境により、多彩な食の魅力に恵まれた美酒美食のまちです。

武蔵野市消防団による「酒田の大火」視察を契機に、平成元年に友好消防団の盟約を結び、自治体間の交流へと発展しました。隔年で市民交流団を派遣しています。

鳥取県岩美町【海・山・温泉、豊かな自然と素朴な人情が育んだ山陰の名勝】

鳥取県の東北端に位置し、日本海を臨む自然景観豊かな町です。山陰海岸は地質学的に貴重で多様な地質遺産であることから、平成22年に世界ジオパークの認定を受けています。

また、町の中央にある岩井温泉は、1200年の歴史を誇る山陰最古の温泉で、「湯かむり」という珍しい風習が江戸時代から伝わっています。



平成15年から「家族ふれあい自然体験」を隔年で実施。

武蔵野市からの親子連れの参加者が貴重な自然を満喫しています。

市民交流ツアー



毎年数回、市民交流団を組んで友好都市を訪問し、名所見学や自然体験、地元の方との交流会などを行います。

【実施先】南砺市・安曇野市・南房総市・遠野市・大崎上島町・酒田市

※原則、各都市とも隔年で開催します。

【定員】20名（申込多数の場合は抽選）

【募集】実施の約1~2ヶ月前の市報で募集します。

【問合せ】多文化共生・交流課 Tel:60-1806

市民宿泊助成

友好都市の以下の宿泊施設を利用すると、お1人1泊につき3,000円の助成(割引)を行いますので、ご利用ください。

◎富山県南砺市

◆「桜ヶ池温泉 桜ヶ池カッパゲン」 Tel:0763-62-8181

◆「五箇山温泉 五箇山荘」 Tel:0763-66-2316

◆「IOXヴァルト(コテージ)」 Tel:0763-55-1969

◎長野県安曇野市

◆「ビレッジ安曇野」 Tel:0263-72-8568

◆「ほりでーゆ〜四季の郷」 Tel:0263-73-8500

◆「ファインビュー室山」 Tel:0263-77-7711

◎岩手県遠野市

◆「たかむろ水光園」 Tel:0198-62-2834

◆「あえりあ遠野」 Tel:0198-60-1700

◎新潟県長岡市

◆「えちご川口ホテルサンローラ」 Tel:0258-89-3000

◎山形県酒田市

◆「湯の台温泉 鳥海山荘」 Tel:0234-61-1727

【利用対象】市内在住の方（利用回数の制限無し）

【利用方法】直接宿に連絡し、「武蔵野市の宿泊助成を利用する旨」を申告して予約。宿泊時に住所を証明できるもの(運転免許証・健康保険証など)をご提示ください。

※各施設では、割引後の金額をお支払いいただきます。

市民民宿宿泊助成

◎千葉県南房総市

南房総市の白浜民宿組合と提携し、夏季契約期間中、民宿の宿泊費の一部を助成します。

助成額は、1泊あたり小学生以上・未就学児（食事あり）2,500円、未就学児（食事なし）1,000円、3歳未満の乳児は無料。（お1人様1回限り2泊まで）

実施期間は6月頃に決定し市報、市ホームページに掲載します。

家族で参加！ 友好都市の自然体験

◆遠野市家族ふれあい自然体験

家族を対象に遠野市で実施するふるさと体験事業です。ホームステイ、乗馬、野山の探検などを体験します。



◆鳥取県家族ふれあい自然体験

山や海での遊び、田舎暮らし、農業体験、虫取り、海水浴、砂丘探検等、家族で様々な自然体験ができます。鳥取県との共同企画で、岩美町など数箇所で開催します。

【問合せ】児童青少年課 Tel:60-1853

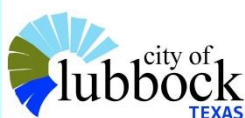
国際交流事業



平和や環境など、地球規模の課題を解決するには、外国との交流などを通じて長期的な視点から友好関係を築き、協力し合うことが大切です。とりわけ次世代を担う青少年にとって、日ごろから異文化に接したり、地域の国際交流事業に参加したりすることは、将来、グローバルな市民として育っていくうえでも大きな意義があります。

本市では、主に青少年を対象に、外国に赴いて現地の人たちと直接ふれあい、生活を共にすることにより、国際理解を相互に深めていくことを目的として、アメリカ合衆国テキサス州ラボック市、ロシア連邦ハバロフスク市、大韓民国ソウル特別市江東区（カンドング）、大韓民国忠清北道忠州市（チュンジュシ）、ルーマニアブラショフ市と交流事業を進めています。

アメリカ合衆国 テキサス州ラボック市



アメリカ合衆国南部、テキサス州の北西部に位置し、綿花・小麦・とうもろこしを産出する農業地帯です。また、テキサス州西部およびニューメキシコ州 東部の卸売・小売業の中心地であり、テキサス工科大学を擁する学園都市でもあります。面積は 350 km² で武蔵野市の約 32 倍あり、人口は 26 万人余りです。年間平均気温は 15 度で、晴天が多く、乾燥してさわやかな気候です。

市の名前は、南北戦争時代の警察組織テキサス・レンジャーズの一員、トマス・S・ラボック大佐の名前に由来します。1870 年代後半に入植が開始され、2009 年 3 月に市政 100 周年を迎えました。

ラボック市との交流



1986 年に第 1 回武蔵野市ジュニア大使親善使節団を派遣して以来、相互交流を続けています。市内在住の中学生が夏休みの期間中、ラボック市を訪れ、市長への表敬訪問、アメリカの青少年との交流、ホームステイ、野外自然体験などを行っています。



ラボック市からは中学生が 6 月に武蔵野市を訪問し、学校訪問やホームステイを通じて、日本の青少年と交流し友好親善を深めています。また、都内及び近郊の名所などを訪れ、日本の文化に触れています。



ロシア連邦 ハバロフスク市



ロシア連邦の最東端地域の中心都市で、アムール川の東岸に位置し、首都モスクワから 6,000 km 以上離れています。ハバロフスク市の面積は 386 km² で、人口は約 60 万人です。寒暖の差が激しい大陸性モンスーン気候に属し、冬と夏の気温差は 60 度前後もあります。

機械・金属工業や木材業が発達し、シベリア鉄道の重要な拠点でもあります。旧ソビエト連邦の時代に、新潟との間に直行航空路線が結ばれ、ソ連崩壊後はハバロフスク市に日本の総領事館が置かれるなど、日本と深いつながりがあります。

ハバロフスク市との交流

昭和 62（1987）年にハバロフスク市の野鳥観察グループが武蔵野市の野鳥教室に宛てた手紙が交流のきっかけとなり、平成 4（1992）年に青少年相互交流協定を締結しました。派遣と受入を隔年で交互に実施し、現在は、ハバロフスク市立エコロジーセンターで環境について学ぶ青少年と交流しています。

派遣では、大自然の中でのキャンプ生活を通じて自然保護の重要性を学び、ホームステイでロシアの青少年との友情を育んでいます。



ハバロフスク市からの交流団は、都内の名所・施設見学などを通じて日本文化に触れ、日本の青少年と友情を深めています。



中華人民共和国 北京市内の学校との交流 ※平成 29（2017）年度まで実施



昭和 63（1988）年に第 1 回武蔵野市青年の翼親善使節団を派遣して以来、北京市人民対外友好協会の協力を得ながら、主に北京市内の学校（月壇中学）との相互交流を平成 29（2017）年度まで実施。



大韓民国 ソウル特別市江東区

韓国の首都ソウル特別市の南東端に位置し、ソウルを流れる大河「漢江」のほとりにあります。地域の特性を活かし、かつては煉瓦工場が点在、肥沃な土壌は昔

から畑作や稲作地域として利用され、現在は、ビニールハウスを利用した促成栽培地として脚光を浴びています。

市内には、約 6,000 年前の旧石器時代の文化遺産「岩寺洞先史遺跡」があり、毎年 10 月には、遺跡に

江東区との交流



江東区の区長と職員が視察で来訪したことがきっかけで交流が始まり、キムチ作りなどを通して市民間の交流が深まりました。近年は、青少年交流を推進し、お互い青少年交流団を派遣し、ホームステイや伝統文化体験などのプログラムを実施しています。



大韓民国 忠清北道忠州市

韓国のほぼ中央、忠清北道にあり、南漢江の上流域に位置します。人口約 21 万、忠清北道の第 2 の都市です。朝鮮半島の歴史において重要な地域のひとつ、古墳群など多くの史跡が点在します。

また、韓国有数の温泉地、水安堡（スアンボ）温泉が有名で、冬はスキー客で賑わうなど、韓国国内から多くの観光客が訪れます。

市の特産品の一つにリンゴがあり、特に忠州りんごは味と香りに優れていると人気があります。

忠州市との交流



忠州市議会と市職員が視察で来訪したことがきっかけで交流が始まりました。その後、両市間で職員派遣協定を結び、職員研修を通じて交流が深まりました。市民団の相互派遣なども行なわれ、最近では青少年交流を中心に交流を推進しています。

ルーマニア ブラショフ市



ルーマニアのほぼ中央、トランシルバニア地方の山間にある都市です。美しい中世の町並みが残り、「黒の教会」や「ブラン城」などが有名です。1991 年に、国立ジョルジュ・ディマ交響楽団の曽我大介指揮者(当時)から、民主化の混乱で苦境に陥っている楽団への支援要請を受けたのをきっかけに交流が始まりました。



ブラショフ市との交流

ブラショフ市長の要請により、1998 年に日本武蔵野センターを武蔵野・ブラショフ両市で設立し、日本語教室・書道・華道・茶道・漫画・絵手紙などの日本文化を紹介してきました。2022 年からは、青少年を中心とした市民同士の相互交流に発展しています。



武蔵野市の青少年海外派遣事業

夏休みに海外友好都市に青少年交流団を派遣し、訪問国の文化・自然体験やホームステイを体験します。世界への第一歩を踏み出してみませんか。

訪問地	アメリカ	ラボック市
	大韓民国	ソウル特別市江東区
	大韓民国	忠清北道忠州市
	ロシア	ハバロフスク市
日数/定員	アメリカ	8日間/中学生 16 名
	江東区	5日間/中高生 12 名
	忠州市	5日間/中高生 12 名
	ロシア	8日間/中高生 20 名

【担当課】多文化共生・交流課 Tel: 60-1806

ホストファミリーをやってみませんか

海外友好都市から来訪する青少年交流団の子どもたちが、日本の家庭生活や日常文化を体験する機会としてホームステイを実施しています。ホストファミリーをやりたい方は、ぜひ一度お問い合わせください。

受入対象	アメリカ ラボック市 (中学生)
	大韓民国 ソウル特別市江東区 (中高生)
	大韓民国 忠清北道忠州市 (中高生)
受入日数	通常 2泊3日 (金曜夕方～日曜夜)
受入人数	原則 2名 (事業規模により調整)
謝礼	交通費程度をお支払いします。
【担当課】	多文化共生・交流課 Tel: 60-1806

人と文化の 交差点



「市報むさしの」(毎月1・15日発行)の
多言語版を電子書籍(デジタルブック)
でご覧いただけます

電子書籍(デジタルブック)では、「市報
むさしの」を10言語(日本語、英語、中国
語簡体字、中国語繁体字、韓国語、タイ語、
ポルトガル語、スペイン語、インドネシア
語、ベトナム語)で読むことができます。

◎アプリで読む

アプリ(カタログポケット)

ダウンロード→

◎ブラウザ版で読む

<https://www.city.musashino.lg.jp/shiseijoho/koho/shiho>

[_musashino/1019243.html](https://www.city.musashino.lg.jp/shiseijoho/koho/shiho_musashino/1019243.html)

最新号はこちらから →



公益財団法人 武蔵野市国際交流協会(MIA)

MIAは、武蔵野市における国際交流・外国人市民の支援を
皆さまとともに推進し、多文化共生のまちづくりをおこなっ
ています。

【協会の主な活動】

外国人市民の生活・コミュニケーション支援

- 日本語コース(こどもの教科学習支援を含む)
- 法律・心理の専門家相談(通訳つき)
- 留学生とホームビジットでの交流プログラム
- 生活情報の提供(9言語)

多文化共生の地域づくり

- 外国人による芸術・言語・料理などの
文化紹介・こども国際交流クラブ
- 国際交流・ボランティア活動の推進
- 地域の学校や団体との連携



料理の写真

★活動の主体は外国人を含むボランティアの皆さんです。

MIAの活動にどうぞご参加ください。(要会員登録)

【所在地】武蔵野市境2-14-1 スイング9階

【開館日】火～土曜 午前9時～午後5時(日・月・祝休館)

【ホームページ】<http://www.mia.gr.jp/>

【電話番号】36-4511

Facebook もあります!



アンテナショップ 「麦わら帽子」

国内友好都市と武蔵野市の物産販売や観光情報などを発信～

豊かな市民生活と活力ある商業活動の一層の推進を目指します。都市と地方、生産
者と消費者、人と人が交流し友好を深め、ともに発展する場所として大好評営業中。

【営業時間】午前10時30分～午後6時30分(年始を除き無休)

【所在地】武蔵野市吉祥寺本町2-33-1 中道通り商店会内

【電話番号】29-0331 【ホームページ】<https://mugiwaraboushi.main.jp/>



武蔵野桜まつり 住んでよかった ふるさとは武蔵野

毎年、桜の開花時期に開催。友好都市の物産販売、式典やステージイベント、市無形文化財「むさ
しのばやし」の披露など、多くの人出で賑わいます。

武蔵野市立自然の村

長野県川上村の千曲川源流近く(標高1,520m)に、
地元の方の協力を得て武蔵野市が設置した野外活動施設
です。宿泊・キャンプ施設、ハイキングコースがあり、
自然を身近に楽しむことができます。利用対象者は武蔵
野市在住・在学・在勤者のほか、三鷹、小金井、西東京
市民です。自然の村宿泊者を対象にした直行往復バスの
運行もしています。詳しくは、武蔵野総合体育館3階の
野外活動センターまで。



【電話番号】

野外活動センター
54-4540

【自然の村所在地】

長野県南佐久郡川上村
大字川端下 547-1

一般社団法人 武蔵野市観光機構

都市観光を推進し、地域の活性化や経済の振興、市民生
活の向上を目指します。

フィルムコミッションによる市内ロケ支援や、多言語に
対応した観光マップの発行、お土産品認定制度などを通じ
て、広く市の魅力のPRにつなげています。

【所在地】武蔵野市吉祥寺本町1-10-7

武蔵野商工会館1階

【電話番号】23-5900



発行年月 令和5年4月

編集・発行 武蔵野市市民部多文化共生・交流課

電話番号 0422-60-1806(課直通)

ホームページ <http://www.city.musashino.lg.jp/>